



### 支廳は石城郡に設置さるゝが當然

#### 躍起となつて運動

郡役所廢止の報に石城郡では此の際他郡より奪はるゝと云ふ事は由々敷き問題として支廳を平町に置くべく町會議員有志と共に極力奔走し相馬、双葉も候補地として運動を行つてゐるので

### 約六十萬貫

#### 一ヶ年に製炭

平營林署管内に於ける官行製炭處は石城郡小川村宇戸渡並に同村三坂村の二個所であるが一ヶ年の生産高は約六十萬貫で需要は主として東京府公設市場であると

### 改稱を議決

#### 縣に認可申請

石城郡窪田村町制施行の件は早晩決せられることになつたが去月廿八日村會の結果愈々窪田村を勿來町と改稱すべく満場一致決定し即時縣當局に對して町制施行認可を申請した

### 福は内と

#### 縣社の節分會

平町紺屋町柳下元吉氏其他發起の福和內會は明日正午から縣社子鐵倉神社々頭に追儼式を擧ぐる筈にて先

### 磐中の入學試験は廿七八の兩日と決定

#### 縣下一齋に執行

本縣下に於ける中學校の入學試験は從來三月廿二三日前後に於て行はれ來つたが斯くては各小學校卒業式が概ね廿五日頃を以つて行はるる

### 關係から

中學校へ入學受験の爲め折角の無欠席兒童が學年末の瀬戸際に於て不本意なる欠席を餘儀なくさるゝ形となる爲め廿五日以後に於て試験の執行を好都合とする各小學校側

つ約千名の會員社頭に參集し家内安全の祈願あつて神酒を汲み交はし午後三時から節分會に移り五名の歳男が景氣よく豆をまく由であるが其中に四十二個の金豆が交つて居る筈にて夫れを

### 舌を練る青年達

#### 辯論研究會を創立

#### 發起者は各町村の中堅青年

石城郡内に於ける一部の青年は辯論研究の目的を以つて磐城辯論研究會を創立し同志を糾合すべく準備中であるが其趣意書は

### 狩獵の取締

#### 非番巡查召集

近來平町附近は狩獵熱勃興と共に狩獵免許狀を受くる者増加し平署管内のみにて三百余であるが這般二回に亘つて狩獵銃より事件が起つたので平署にては、二日の兩日各村註在巡查並に非番巡查を召集し密獵並に之等に對して嚴重取締りを斷行し一方短銃短刀等の處



### 鬼は外

吸人の仕方 吸人もかけた計りで外出する事は吸人の効を減却するばかりでなく却つて反動の

### 大浦信用協議

#### 石城郡大浦村信用組合幹部會は二日同村酒井專治宅に開會大正十三年度決算大正十四年度豫算の件を附議したと

### 馬糞の掃除

#### 具休案を作製

平町は近年非常な發展を示し昨午南町裏通りに大道路を開鑿し以て町の狹隘を緩和するといふ有様であり更に隣接村である神谷、内郷

### 平署長が

平署長が 平町は近年非常な發展を示し昨午南町裏通りに大道路を開鑿し以て町の狹隘を緩和するといふ有様であり更に隣接村である神谷、内郷

### 大家的畫

#### 抽籤で配附

いはらき新聞社にては現代の有名畫家を網羅して茨城繪畫展覽會を催す筈であるが各大家の席畫を抽籤にて一般に配附すべく目下その申込者を募集中に一口は二十圓と云ふ事になつて居るが希望者は此際奮つて同社平支局及同新聞販賣部たる田町高野分店に申込まれたいと

### 唧筒を据え

#### 田に水を引く

石城郡大浦村にては同村水田六十町歩の灌漑用として同村を流るゝ仁井田川に唧筒を据へ付け灌漑する事に決したがこれが水利權使用の許可を得べく二日同村長和田甚内氏が郡衛に出頭陳情したと

### 低利資金認可

#### 石城郡江名町漁業組合にては二千圓 四倉町同上にては四千圓の低利資金借入認可申請中の處卅一日附認可指令があつたが小名濱町同上にては近く千五百圓の認可申請すると

入薬は食鹽重曹を用ひますが、寒中だけはそれへ一合に對する一サジ位のグリソリンを加へておきますと顔やその他手等のアレを防げますアルコールを用ひる際は工業用のは有毒なガスを發生しますからよろしく日本藥局方の酒精を用ひるやうにした方がよろしいです

### 勿來關碑

#### 除幕式決る

石城郡窪田村勿來關に於ける源九郎義家の治績を天下に廣めようとして田中智學氏は紀念碑を建設する事は既報の如くであるが愈々準備も出来四月盛大な除幕式を舉行し同村では來る十二日青年團總出にて附近下刈を行ひ櫻苗三百本を植付ける筈である

### 地盛工事出動

石城郡高久村消防組員にては組頭鈴木喜太郎氏以下全員出動卅一日から三日間同村小學校の地盛工事を行つた